

# 竹村ほまれ 後援会だより

2011/7/23

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先 Fax: 81-4371

携帯: 090-6545-2254

HP: <http://homare.ina-ka.com/>

ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/yanagiran>



4月の市議会議員選挙では大変お世話になりました。有り難うございました。

選挙でお約束した公約実現に向けて「ほまれ」は日々努力を重ねています。

6月議会の一般質問の模様と委員会での請願書質疑の結果、そして市内各地で建設されています「いきいき交流センター」の視察状況をお知らせします。

## ☆地域防災計画の見直しと防災対応

**質 蘭** 東日本大震災の発生を受け、地域防災計画を見直しが必要だ。「見直しの要点」と「進捗状況・取りまとめの目処は」。

## 救出救援の再検討を 素案策定は7月中旬

**市 長**

初動機対応計画を現行3日間から一カ月程度に見直し、危機管理体制・救出救援体制の確立を図り、要支援者などの救出救援活動の優先順位の再検討などを含めた全一四項目の見直しを検討。素案策定の目安は七月中旬とする。

**※ほまれ** 地域の実状と専門家の意見も聞き、充分議論された計画策定を。



## ☆放射能への対応と測定機の購入は

**質 蘭** 放射能に対応する防災計画への盛り込みの用意が必要だ。

飯島町以外の近隣市町村で既に導入予定の放射能測定器を駒ヶ根市でも導入し、市民の安全・安心に配慮すべきだが、考えは。

## 市独自の購入は 考えていない

**市 長**

放射能に関して市内への影響を想定するのは難しく国・県の対応をみて、県との協議、相談をしていく。

放射能測定器は伊南消防本部に簡易放射能測定器が用意されている、いざという時はそれを使い、市独自の購入による運用は考えていない。今後必要により検討も考えたい。

**※ほまれ** 放射能汚染は大感心事であり、防災計画への

盛り込みは必要。放射能測定器は独自に購入し、計画的に測定し公開を行うことで市民の安全安心に配慮。

## ☆浜岡原発停止に伴う駒ヶ根市の影響は

**質 蘭** 浜岡原発・計画停電に対する駒ヶ根市への影響が心配。ライフラインである上下水道の非常用電源の確認や、貯水量の確保が必要だが、準備は。

## 計画停電されても

## ライフラインに問題無い

**市 長**

中部電力(株)より、計画停電は想定していないと聞いている。

上水道は上伊那広域水道も含め停電対策として自家発電施設を設置されており二〇時間程度は稼働可能。

公共下水道も自家発電機を整備しており、三六時間稼働可能。

農業集落排水については、自家発電はないが、貯水池に汚水を一時的に貯留する対応を図る。



## ☆子ども医療費の

## 無料化拡大の展望は

**質 蘭**

「子ども医療費無料化」の制度は、上伊那の他の市町村が小学校6年生、或いは中学生、高校生まで無料になっている中で、駒ヶ根市は小学校3年生と遅れている、子ども医療費無料化の拡大を求め。

## スポット的な施策事業でなく幅広い施策へ

**市長** 多種多様な子育て支援策を実施している中で、スポット的な施策だけでなく幅広い展開を考えている。福祉医療の充実が財政の状況見ながら年次的に充実していく。

**※ほまれ** 景気の低迷が続く中、保護者の医療費の負担は深刻だ、子育て世代が安心して医療を受けられる様、一日も早く制度の拡大を。



## ☆安定的な雇用創出とは、どうあるべきか

**質欄** 雇用を取り巻く状況は深刻だが安定雇用の創出はどういったものかどうあるべきか。

## 足腰の強い産業振興と地域経済の構築

**市長** 企業誘致や既存企業の育成、産業振興を積極的に推進、地域に於いては足腰の強い産業を振興させて、豊かさを実感できる活力のある地域社会を構築していく。

**※ほまれ** 市独自の雇用創出施策を推進し、市民の目に見える求職者支援を。

これからも皆様の切実な要求を取り上げて、市政改革に全力で取り組んでまいります。



## 「子ども医療費無料化の拡大を求める請願書」

文教・厚生委員会質疑から  
「上伊那の他の市町村が、福祉医療費の無料化を拡大している中で、駒ヶ根市は遅れている、小学校6年生までの拡充を」

## 子どもに冷たい不採択判定

駒ヶ根市議会は、市政を前に進めようという提案に対して不採択としました。

委員会では竹村誉以外の委員は不採択に手をあげました。  
本会議では坂本裕彦議員と竹村議員のみ請願に賛成。

## 不採択にした議員によると

- ▼「小学校3年生まで無料なら子どもの状態は安定する」
  - ▼「無料化を拡大したら、たいしたことが無くても医者に頼る保護者が出てくる」
  - ▼「昭和伊南病院再建に支援の金が掛かっている」
  - ▼「市は福祉医療費以外に子育て支援制度を充実させている」
- このように

子育て世代の大変な実態を理解できない議員や  
市の理事者側の代弁者となっている議員がいる現状です。

委員会構成  
加治木今委員長、菅沼孝夫副委員長、中坪宏明委員、下平順一委員、岩崎康男委員、塩沢京子委員、竹村誉委員

**ほまれ** 市の予算160億円程の中で福祉医療に掛かる費用は僅か1学年4百万円程です。保護者の負担と子どものいのちを考えた時に反対された議員は市民の利益を考えて判断されたのか残念です。

## いきいき交流センター整備事業

国の交付金事業であります「地域介護予防拠点施設」は、平成二三年度協議分も含め21地区の建設が予定され、税金のバラマキも心配されますが

- ◆一施設当たり交付金  
建物 3千万円、  
備品購入費 3百万円  
を基に建設されます。

- ◆建物の特徴  
・スロープやバリアフリーなどのよる段差解消  
・手すりの設置  
・多目的トイレの設置

- ・掲示板の設置

◆以下は7月中旬迄に完成予定で、6月議会での指定管理が議決された12施設を紹介します。

- ①南割いきいき交流センター（南割）
- ②南方（中割区南方自治組合）
- ③荒井（北割2区荒井自治組合）
- ④塩木（北割2区塩木自治組合）
- ⑤女体（北割2区女体自治組合）
- ⑥切石原（北割1区切石原自治組合）
- ⑦久保（北割1区久保自治組合）
- ⑧上手西（下平区上手西自治組合）
- ⑨北の原（町4区第5自治組合）
- ⑩原（中沢区原自治組合）
- ⑪火山（東伊那区火山自治組合）
- ⑫塩田（東伊那区塩田自治組合）



（原いきいき交流センター）

今後、指定管理地区に維持管理の課題が被りますが施設が活かされ利用される様にしたいですね。